

メディアという次元における哲学  
—その方法と意義に関する体験的考察—

山口大学国際総合科学部  
小川仁志

# 1 私の活動

- ① 哲学カフェ
- ② 一般書の出版（100冊以上、世界中で出版、ベストセラーも）
- ③ 雑誌・新聞・WEB等での連載
- ④ 講演
- ⑤ テレビ出演



## 2 「メディアという次元における哲学—その方法と意義に関する体験的考察」の意図

①本シンポジウムのテーマに対する私のアプローチ  
→メディアで哲学を発信してきた立場から、体験的にその意義を考察

②最近人文学のインパクトが話題になった例  
→哲学者マルクス・ガブリエルと歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリについて

### 3 人文学が社会的インパクトをもたらすためのメカニズム(理系との比較)

#### ①理系の場合:

ノーベル賞や優れたテクノロジーの登場

→社会が盛り上がる

→①親が自分の子どもを理系に進ませる

②子どもが夢を持つ

③有識者、政治家、文部科学省が関心を持つ

→重視される

#### ②文系の場合:このプロセスが可視化されにくい

ただ、ノーベル文学賞や芥川賞などがかりうじて文芸を支えているし、人文系のベストセラーやテレビが機運を高めることはある←ここに着目すべき!

## 4 人文学はいかに発信していくべきか？

①「思想家は、まさにおのれのメディアであるものを忘れがちなのである」(フリードリヒ・キットラー「メディアの存在論に向けて」)

②マクルーハンの「**メディアはメッセージ**」を再認識する  
→媒体自体次第で、伝わるものが変わる  
→市場に対してインパクトをとるのであれば、**市場に届くメディアが必要**。そしてメディアが変わるのであれば、**表現形式も変わってくるはず**

③そのうえで、インパクトを狙うなら、**マーケティングが必要**  
→大衆を対象にする限り、大衆向けのマーケティングをしたうえでの発信がいるということ

## 5 一般書の意義及び出版界の事情

### ①一般書とは何か？

- ・専門書(アカデミズムの業績になる書籍)
- ・専門的な内容を含む一般書(専門書としても分類される)
- ・一般書(入門書、ビジネス書、自己啓発書)

上から下に行くに従って、購買層が増える。それに比例してインパクトも大きくなる

### ②出版界の事情

- ・もはや記号消費になっている
- ・出版不況だが一定のニーズはあるので、切り口次第
- ・なかなかヒットが出ない裏に、データ至上主義の問題も!?

この事実から冷笑的な態度で目をそむけるのではなく、むしろ受け入れることではじめて、内側からの瓦解が可能になる！

## 6 画期的な哲学番組

①Eテレ「世界の哲学者に人生相談」とは？

②異例の哲学番組が誕生した経緯

③NHKの番組制作のプロセス自体が、新しい「哲学プラクティス」のあり方!?

④今後の課題

→アカデミズムのバックアップ

## 7 たかがテレビ、されどテレビ？

①テレビの意義としての共通性

②マイケル・サンデル「ハーバード白熱教室」のインパクト

③ガブリエルはテレビの意義について、一つの物を色々な視点から見ることができるものとして高く評価  
(マルクス・ガブリエル『なぜ世界は存在しないのか』)



## 8 メディアの変化と人文学へのインパクトへの影響

### ① SNSやYouTubeの影響

→ ツイッターで哲学を発信している人もいるし、YouTubeで小川さんを見ましたという人も多い

### ② インターネットがインフラになるにつれ、ネット上での哲学のインパクトが求められるようになるだろう

→ 思弁的実在論やOOOといったムーブメントはインターネット発

### ③ テレビでの発信とインターネットでの発信を結び付ける

## 9 今後アカデミズムはどうあるべきか？

①アカデミズムによる評価が不可欠

②地域貢献の代わりとして位置づける

※ポスト査読、最小アカデミズム論(「現代思想」  
2019年1月号)

③就職問題にも関係してくる

## 10 提言—結論に代えて

①哲学にもっとイノベーションをもたらすべき  
→「〇〇と哲学」という発想及び実践

②アカデミズムは一般メディアにおける学問をもっと支持すべき

## 参考文献等

NHK「世界の哲学者に人生相談」 <http://www4.nhk.or.jp/tetsugaku-soudan/> (2019/1/31)

フリードリヒ・キットラー「メディアの存在論に向けて」、石田英敬・吉見俊哉・マイク・フェザーストン編『メディア哲学』東京大学出版会、2015年、41 - 56頁。

マルクス・ガブリエル『なぜ世界は存在しないのか』清水一浩訳、講談社、2018年、291頁。

小泉義之・千葉雅也・仲山ひふみ「思弁的实在論「以後」とトランプ時代の諸問題」、「現代思想」vol.47-1、青土社、2019年、25 -26頁。